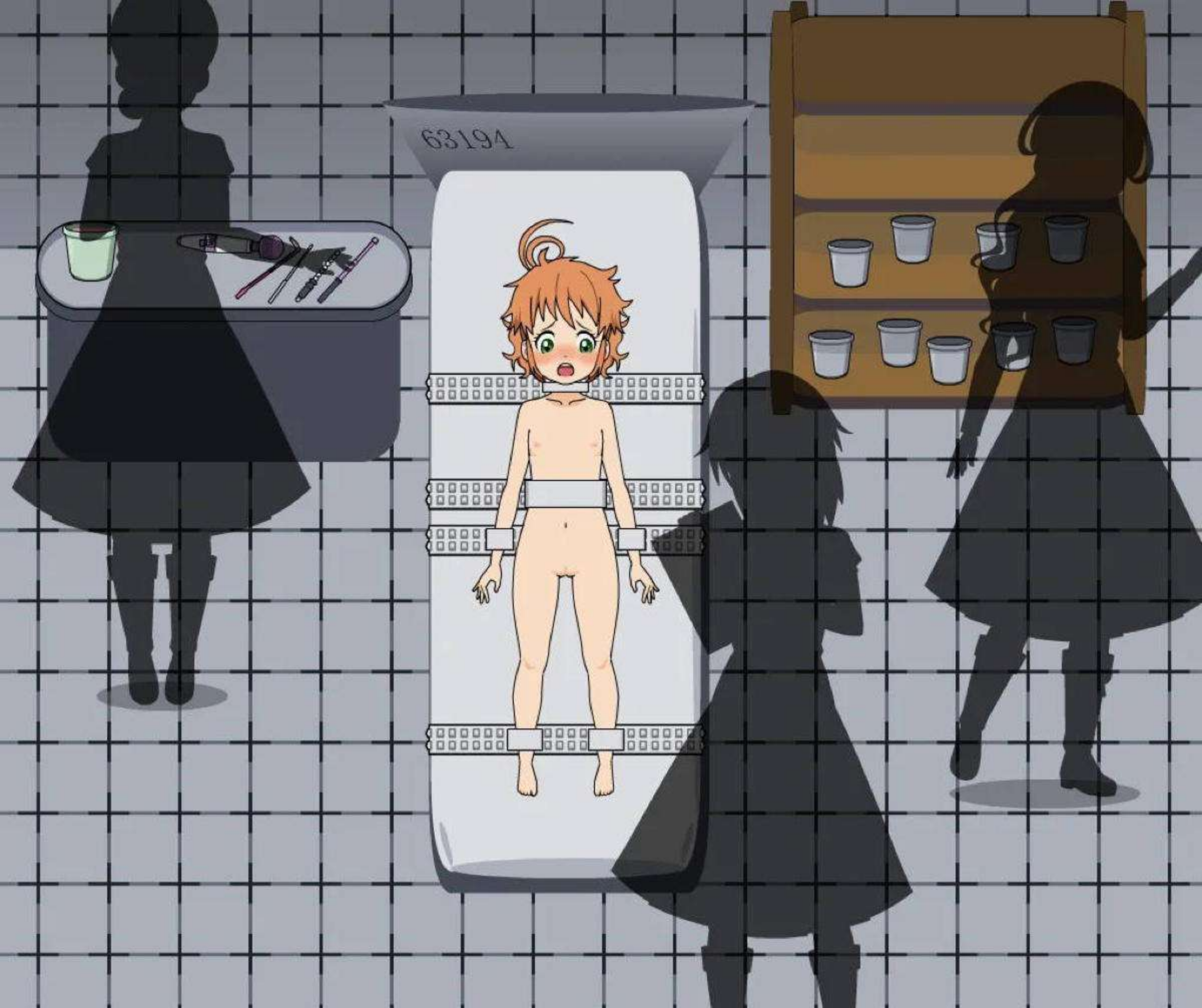
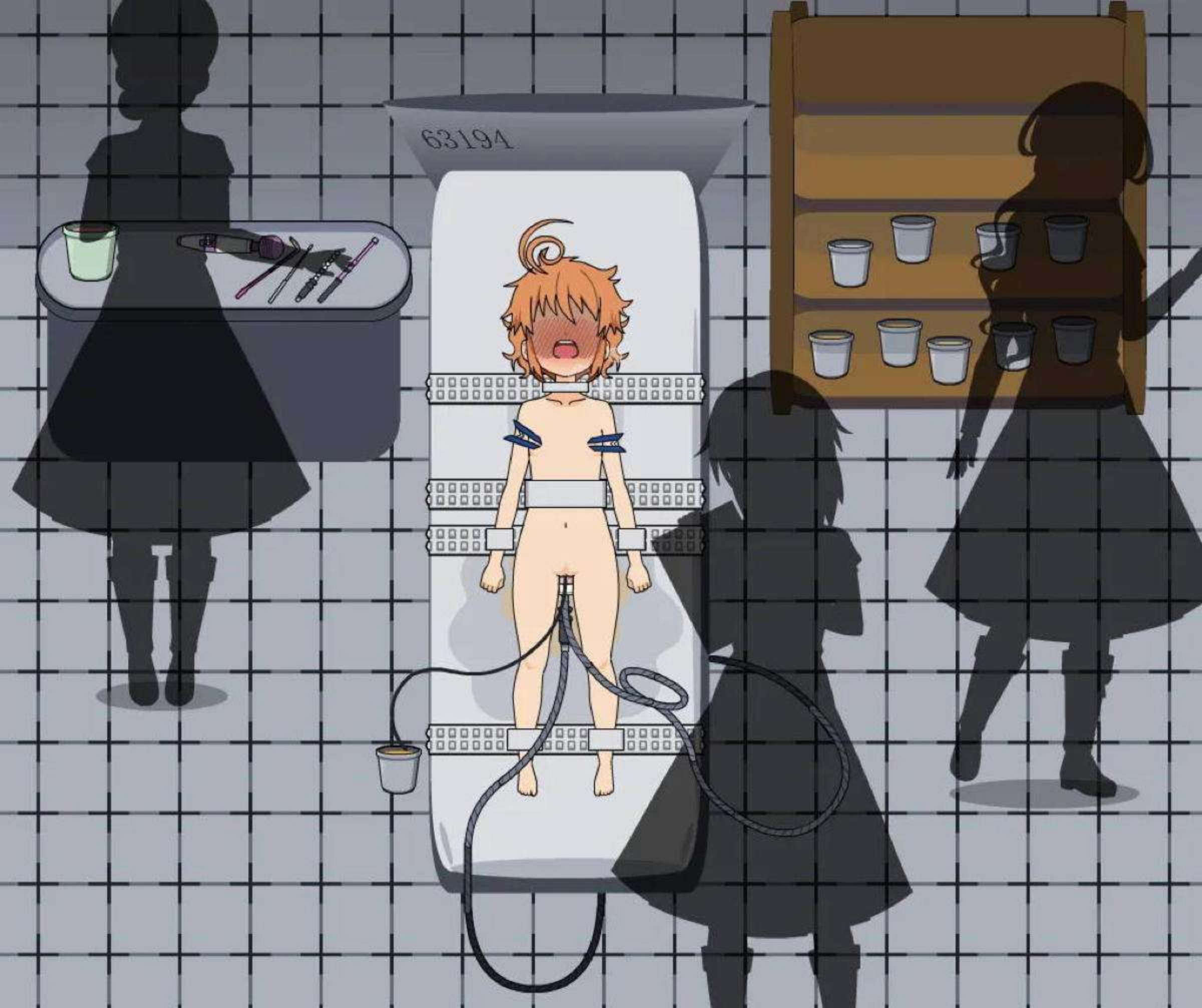
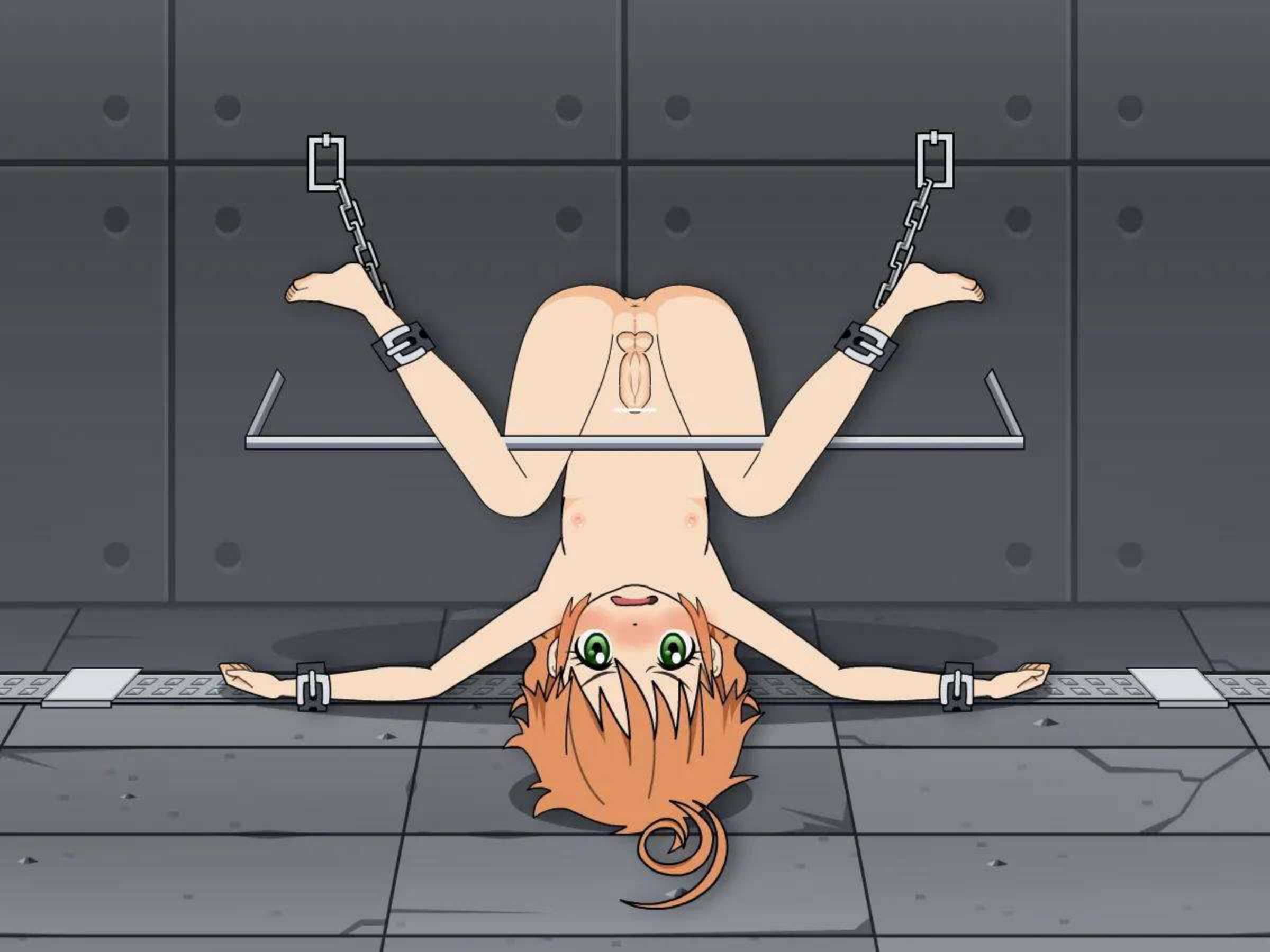


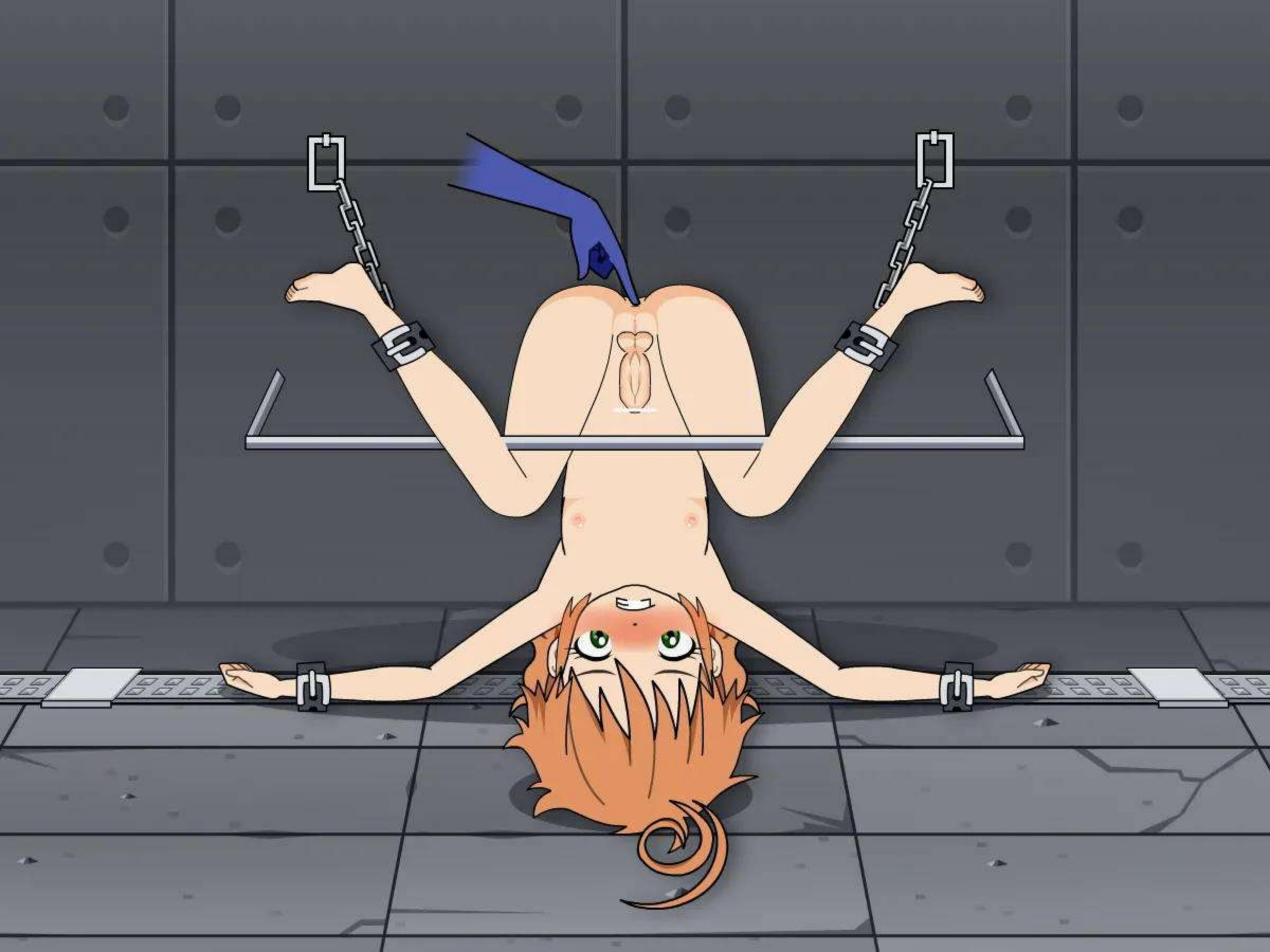


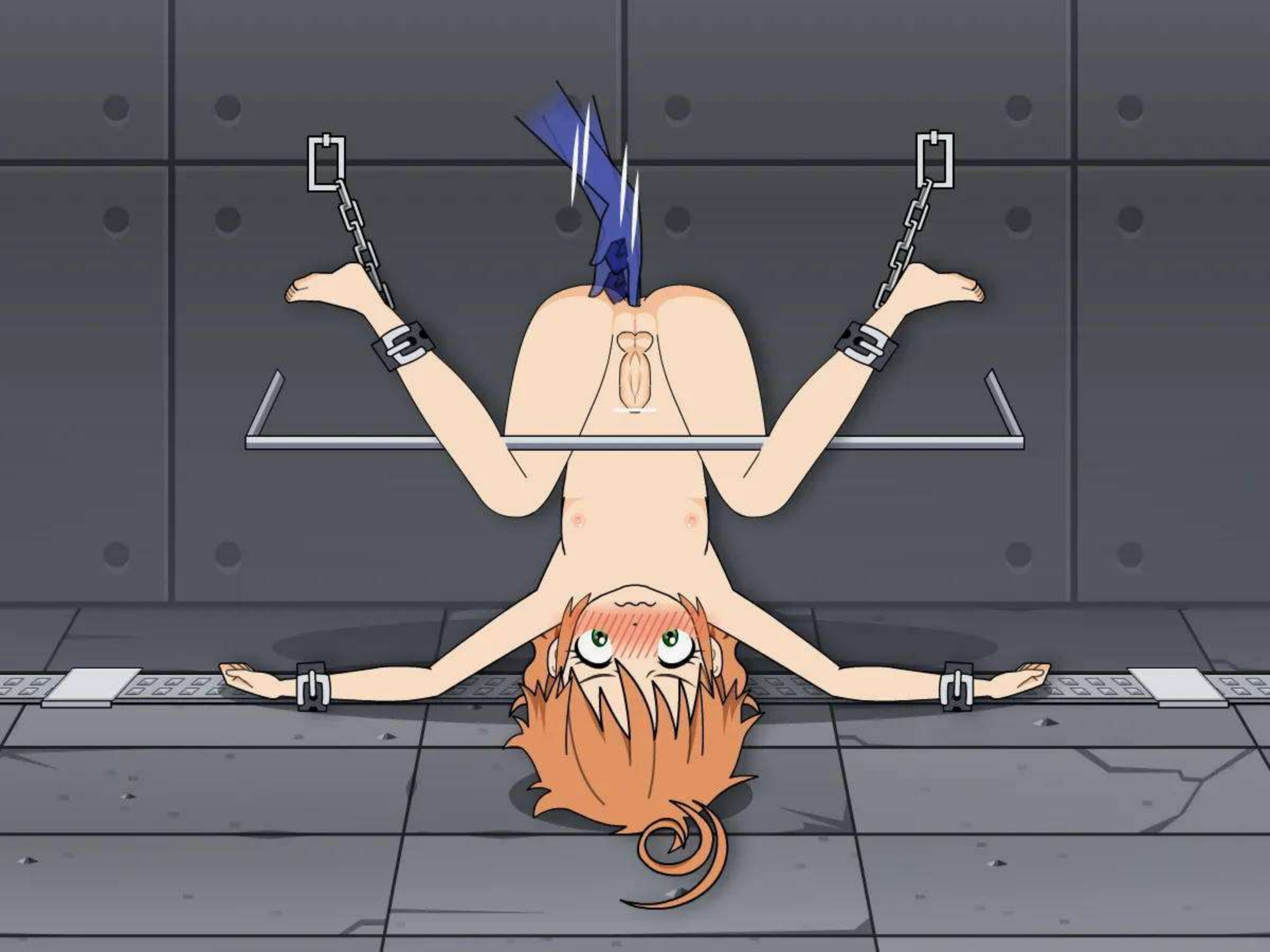


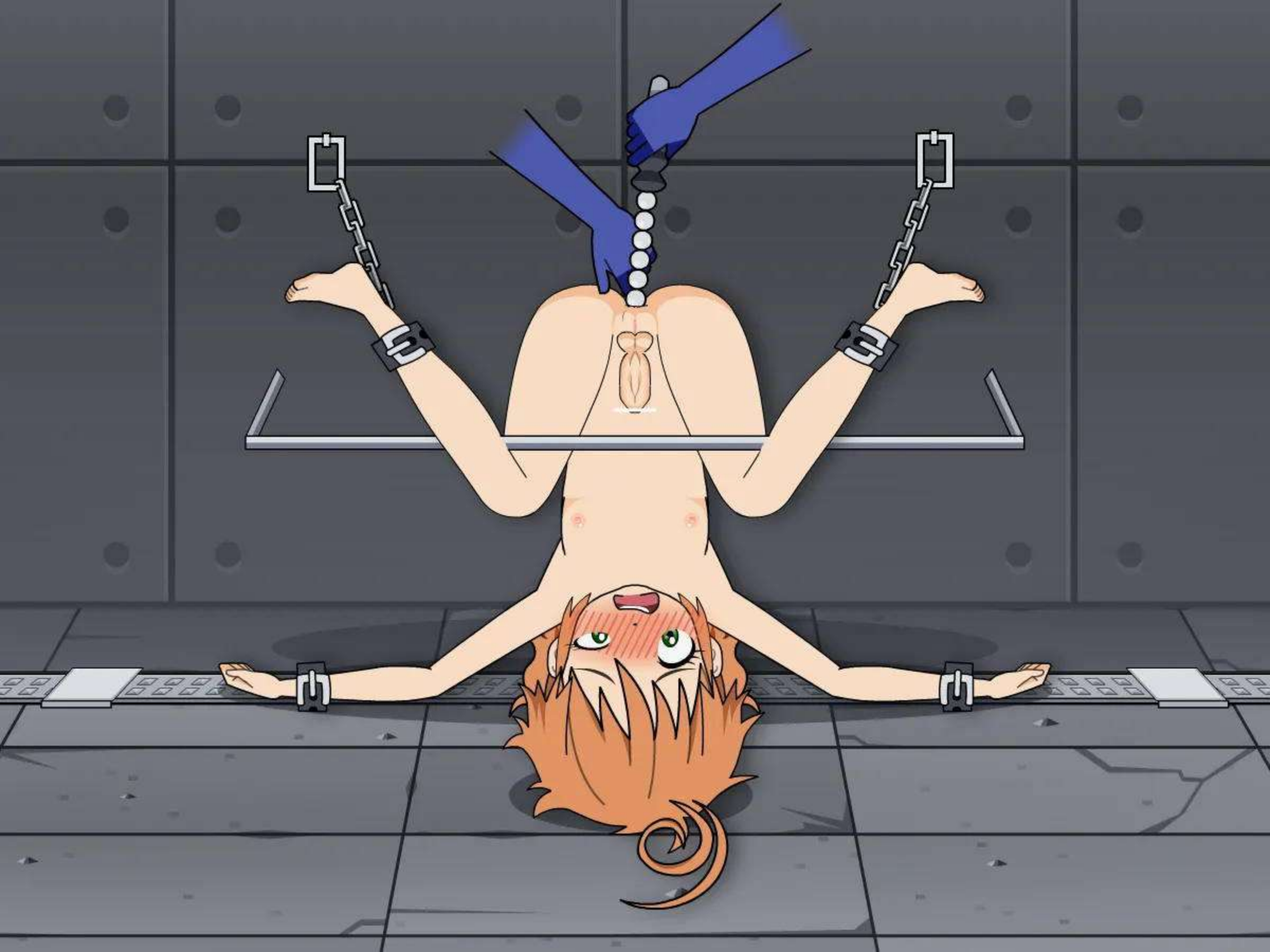


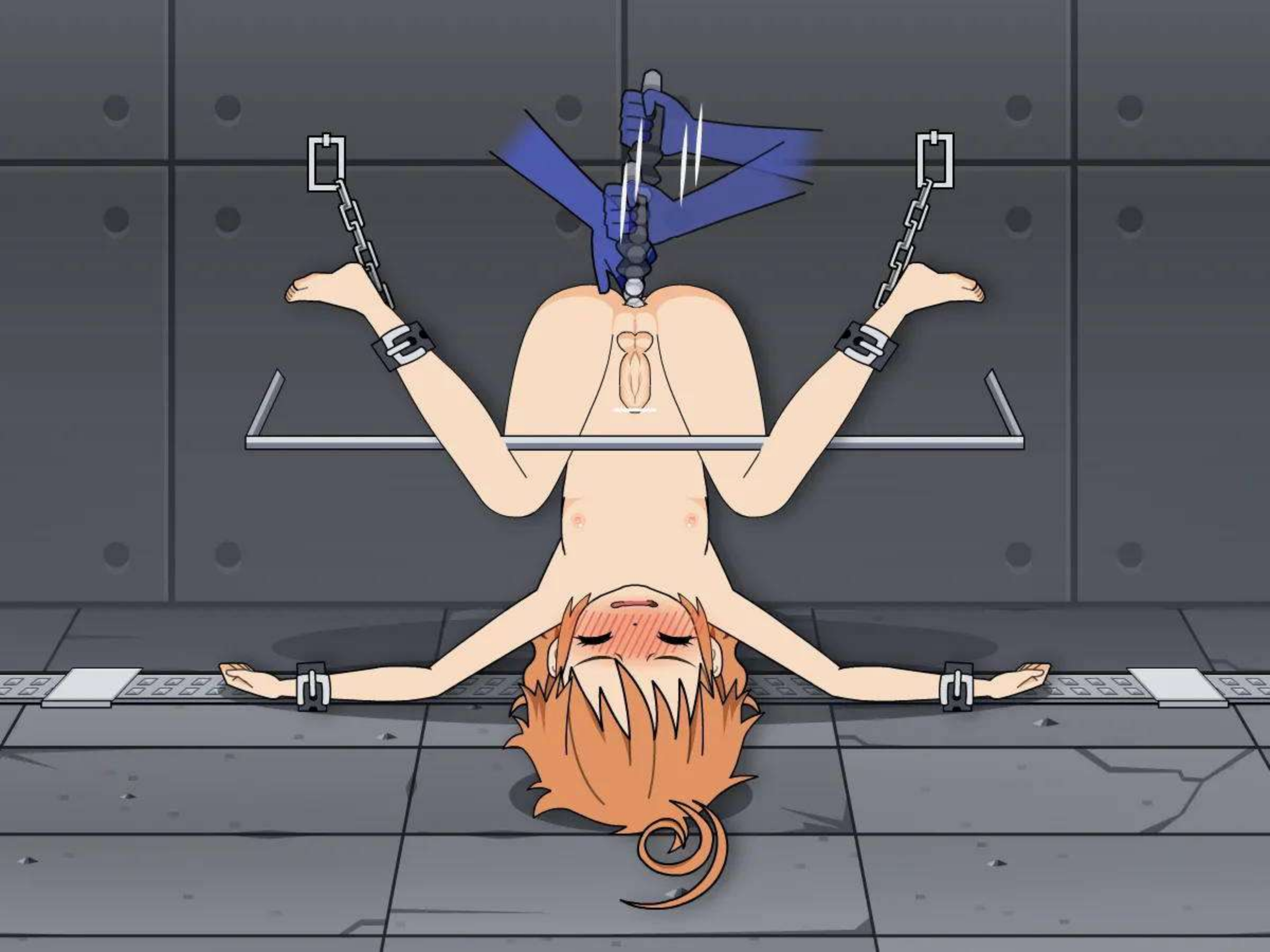


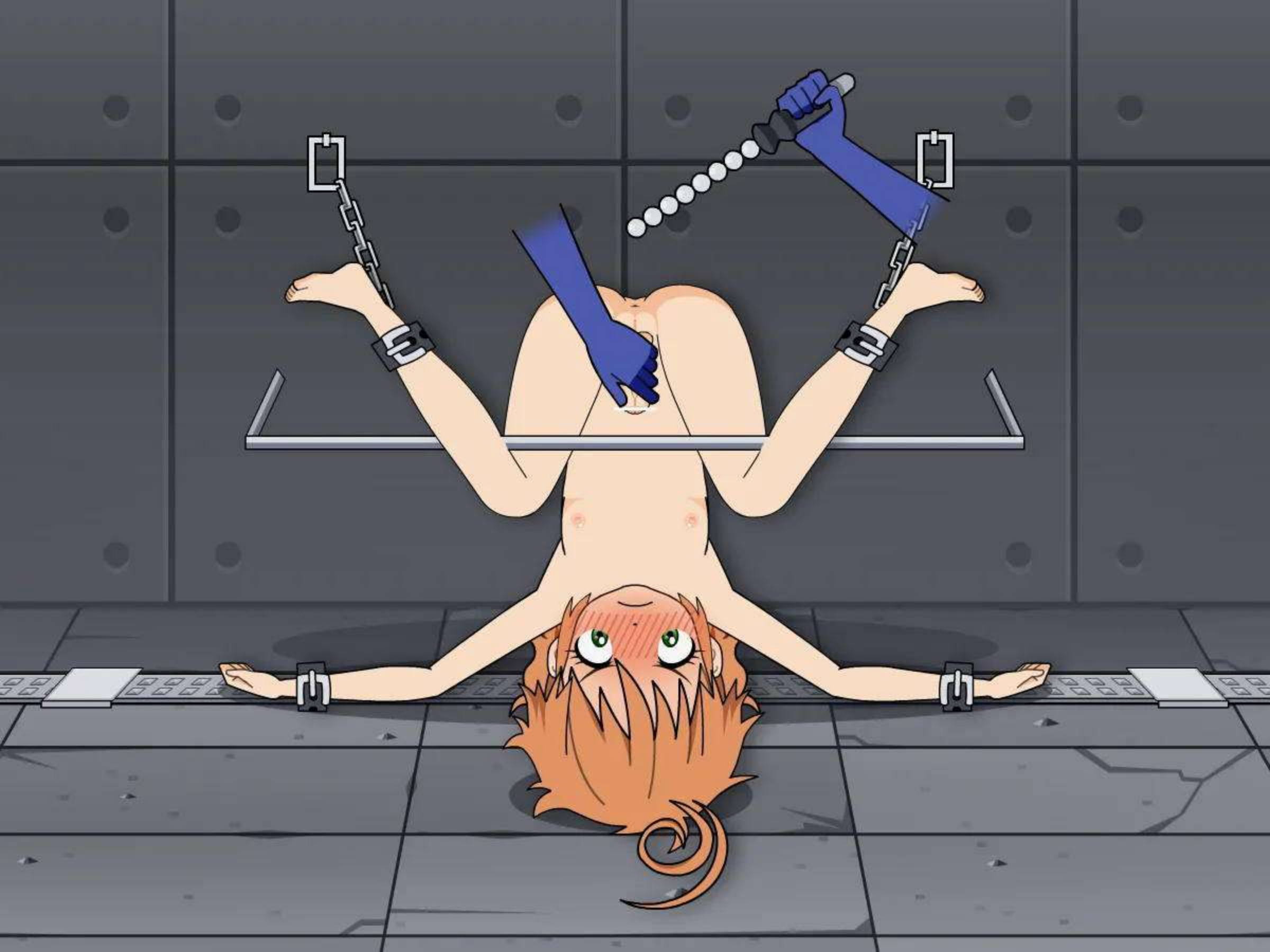


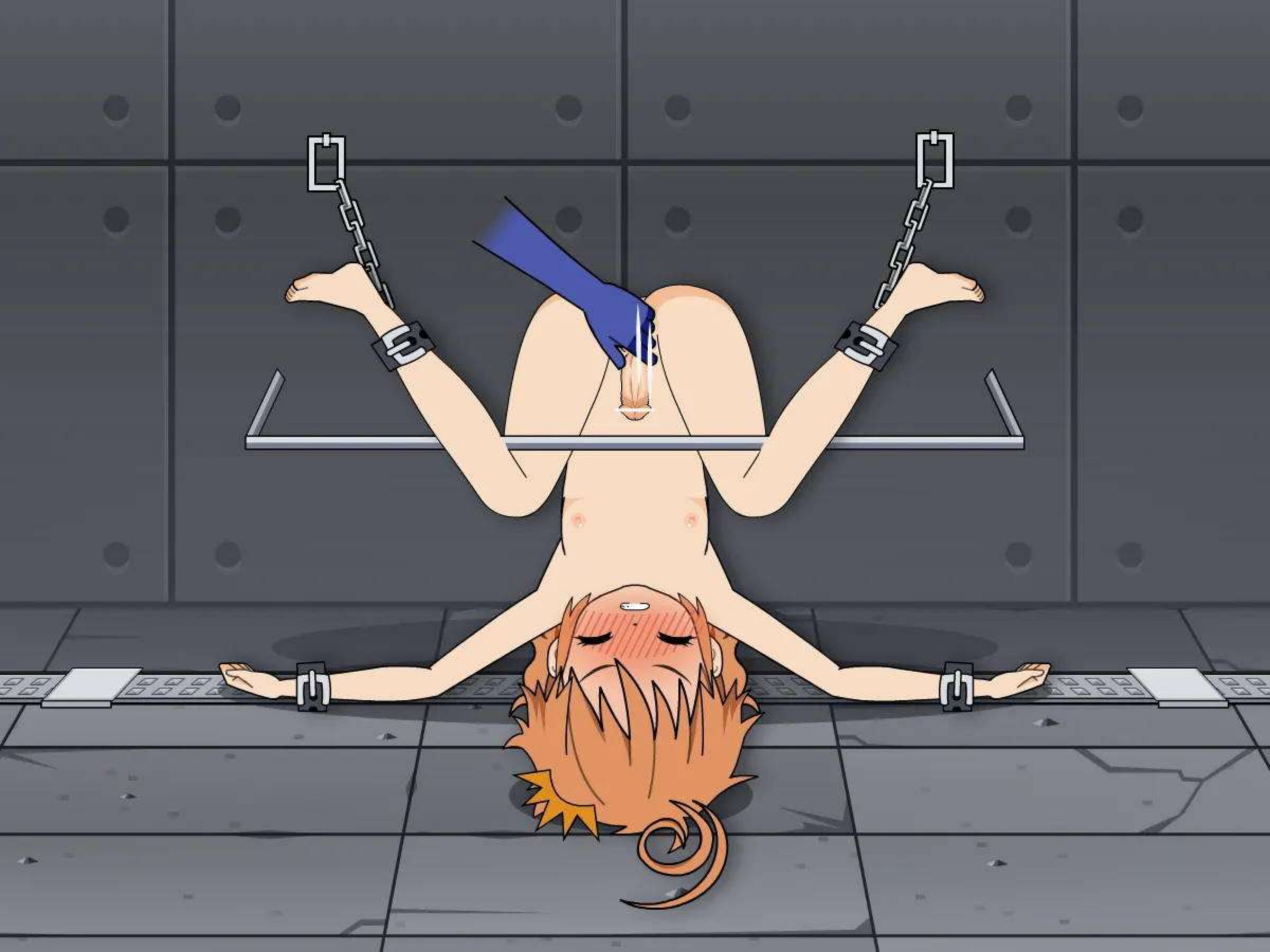


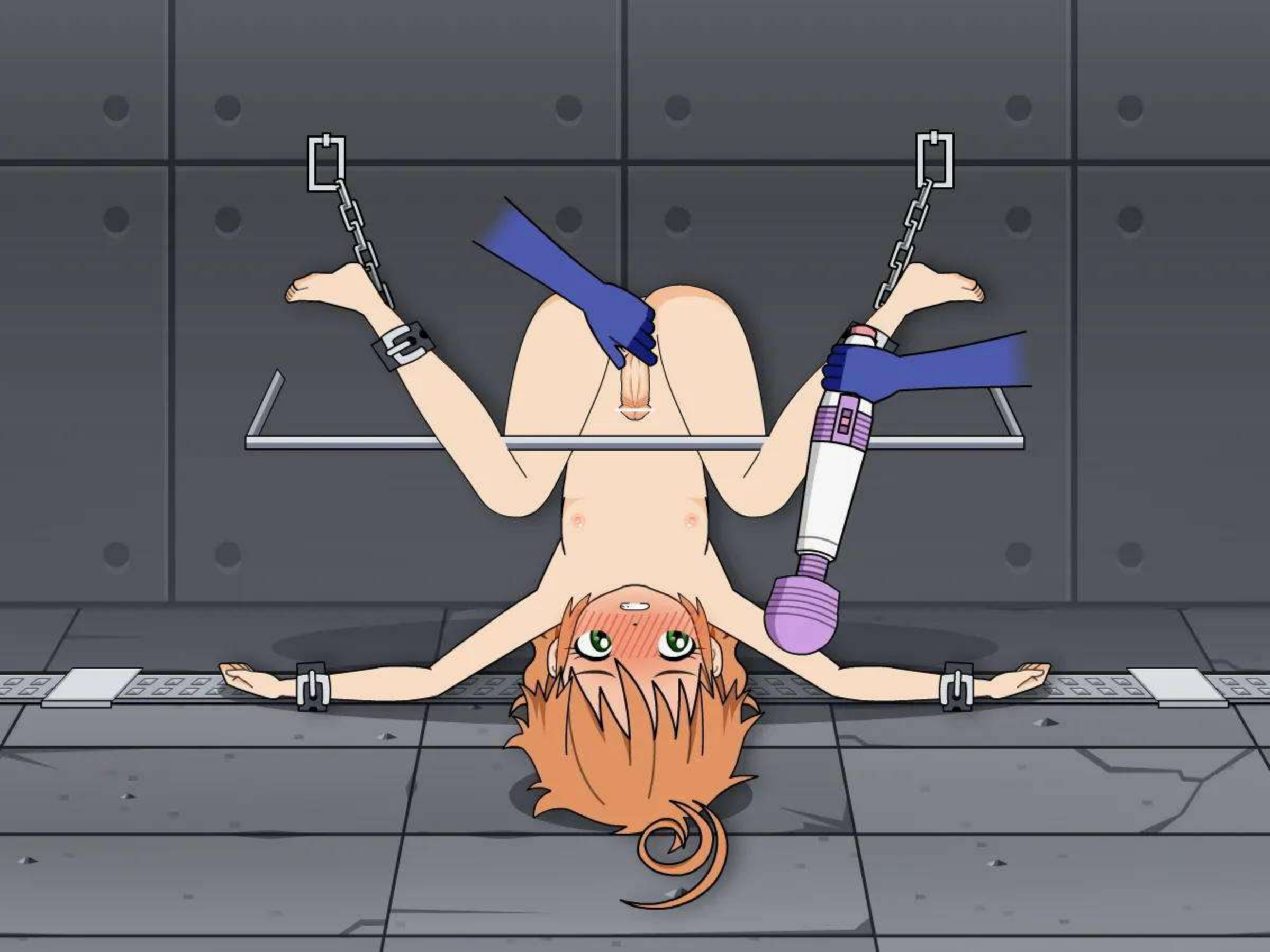


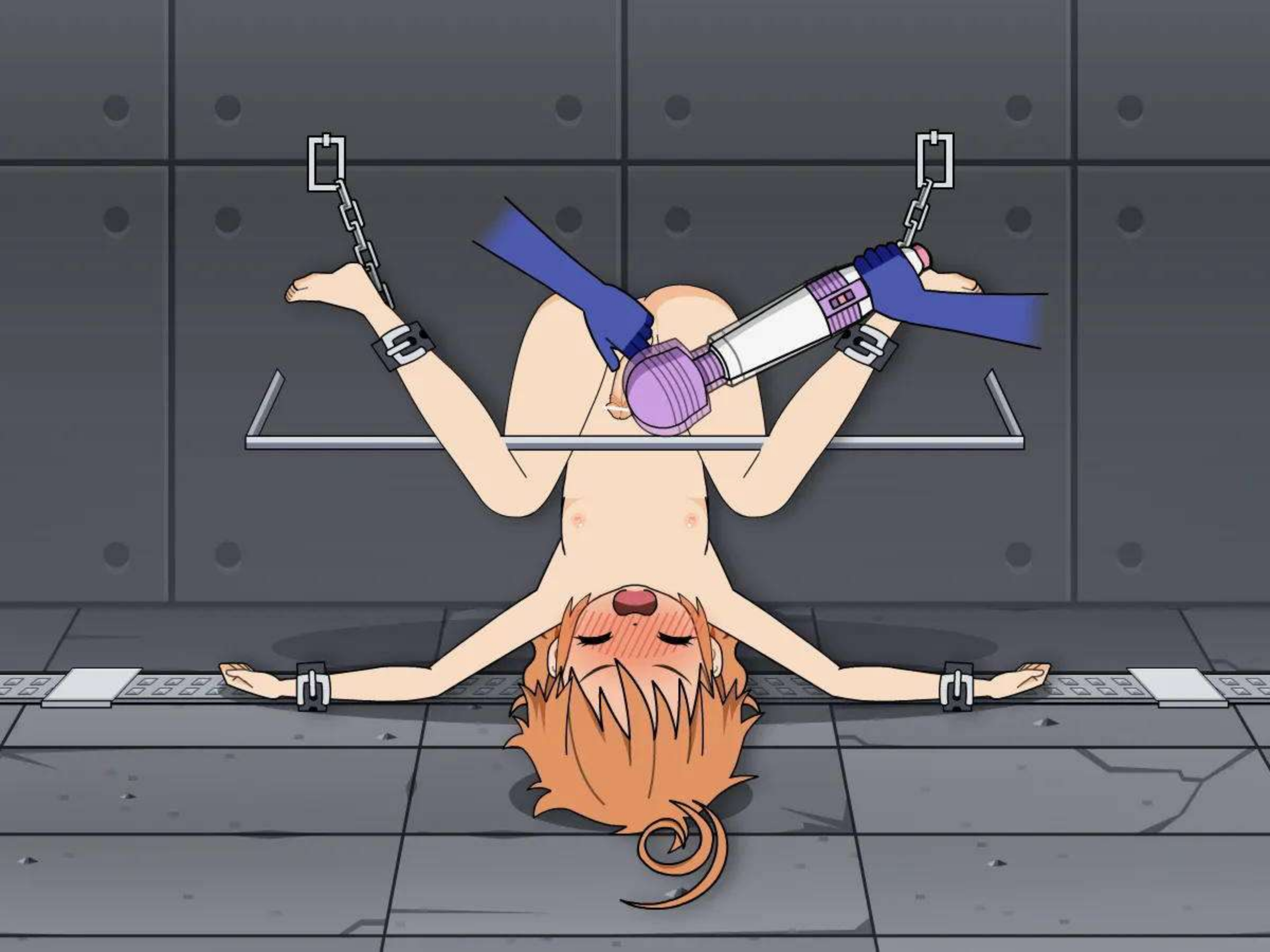




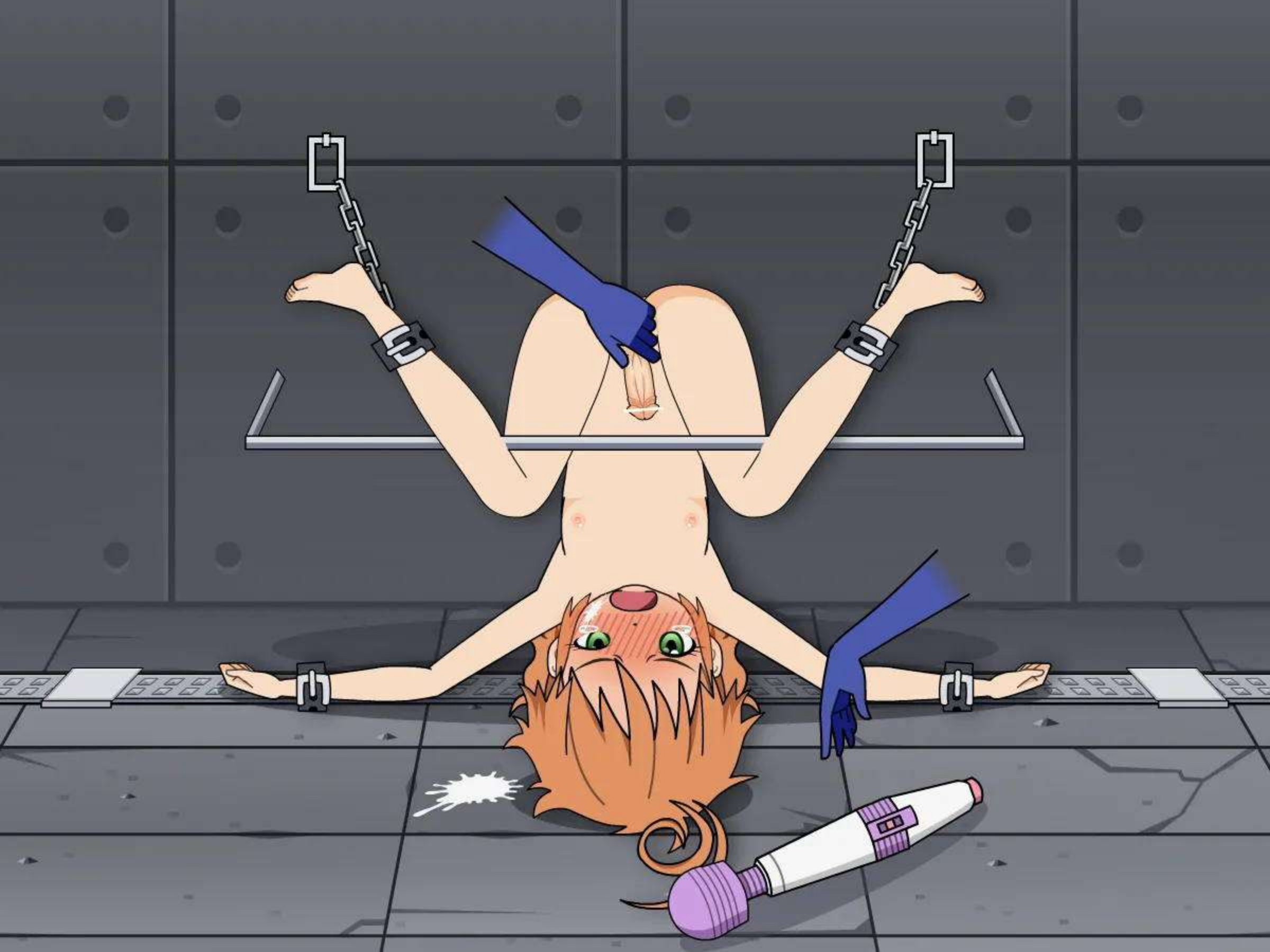


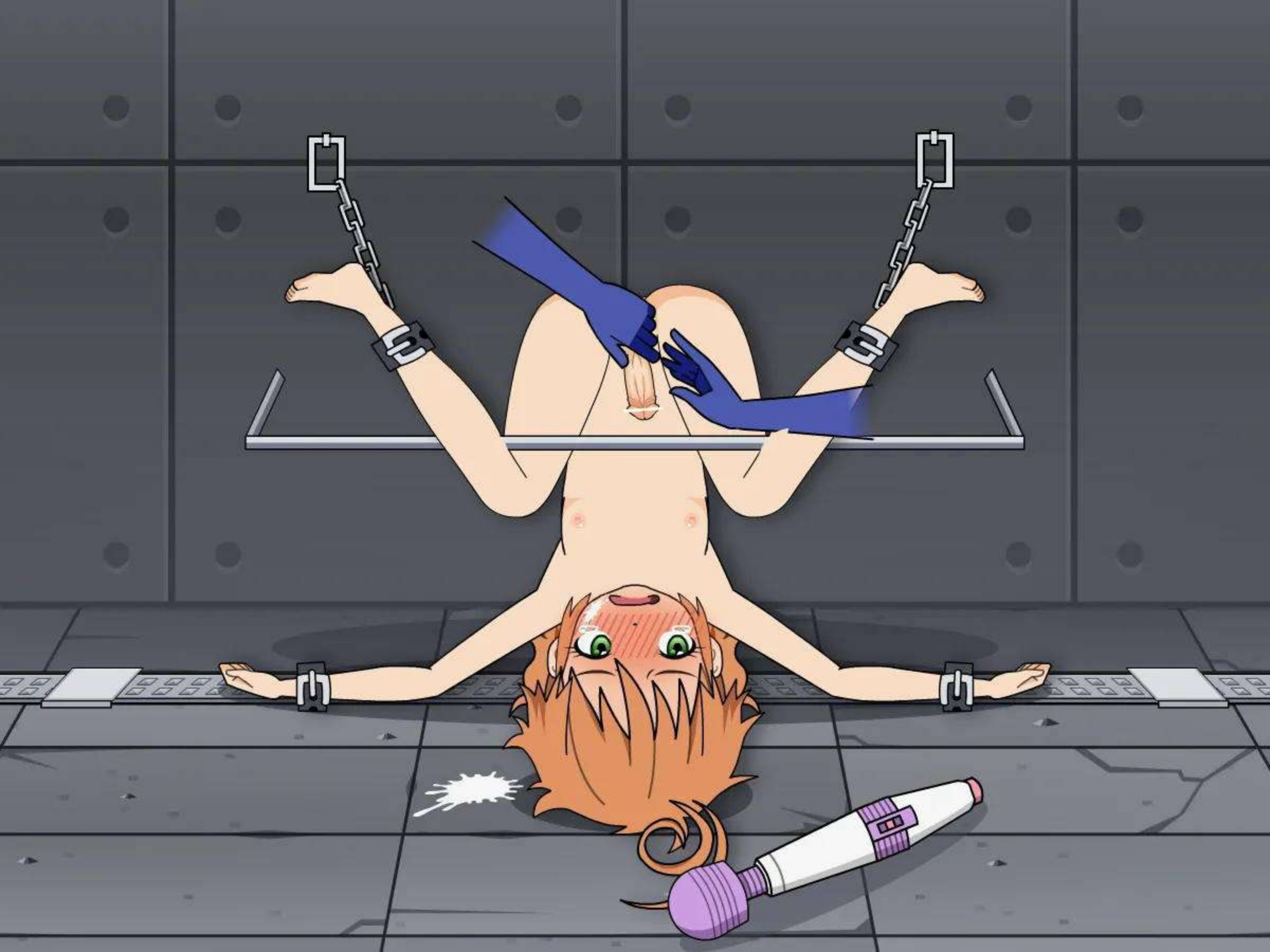


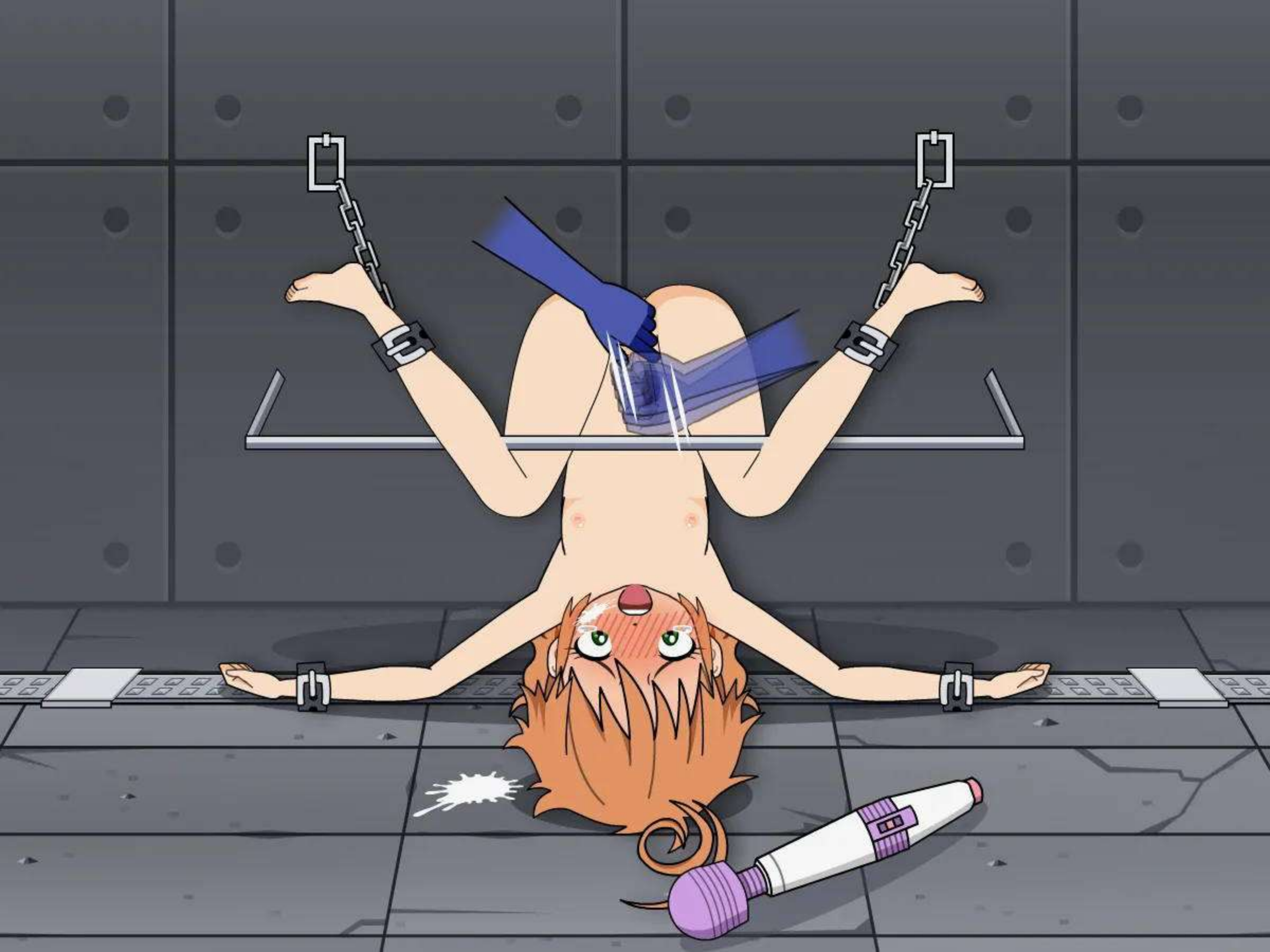


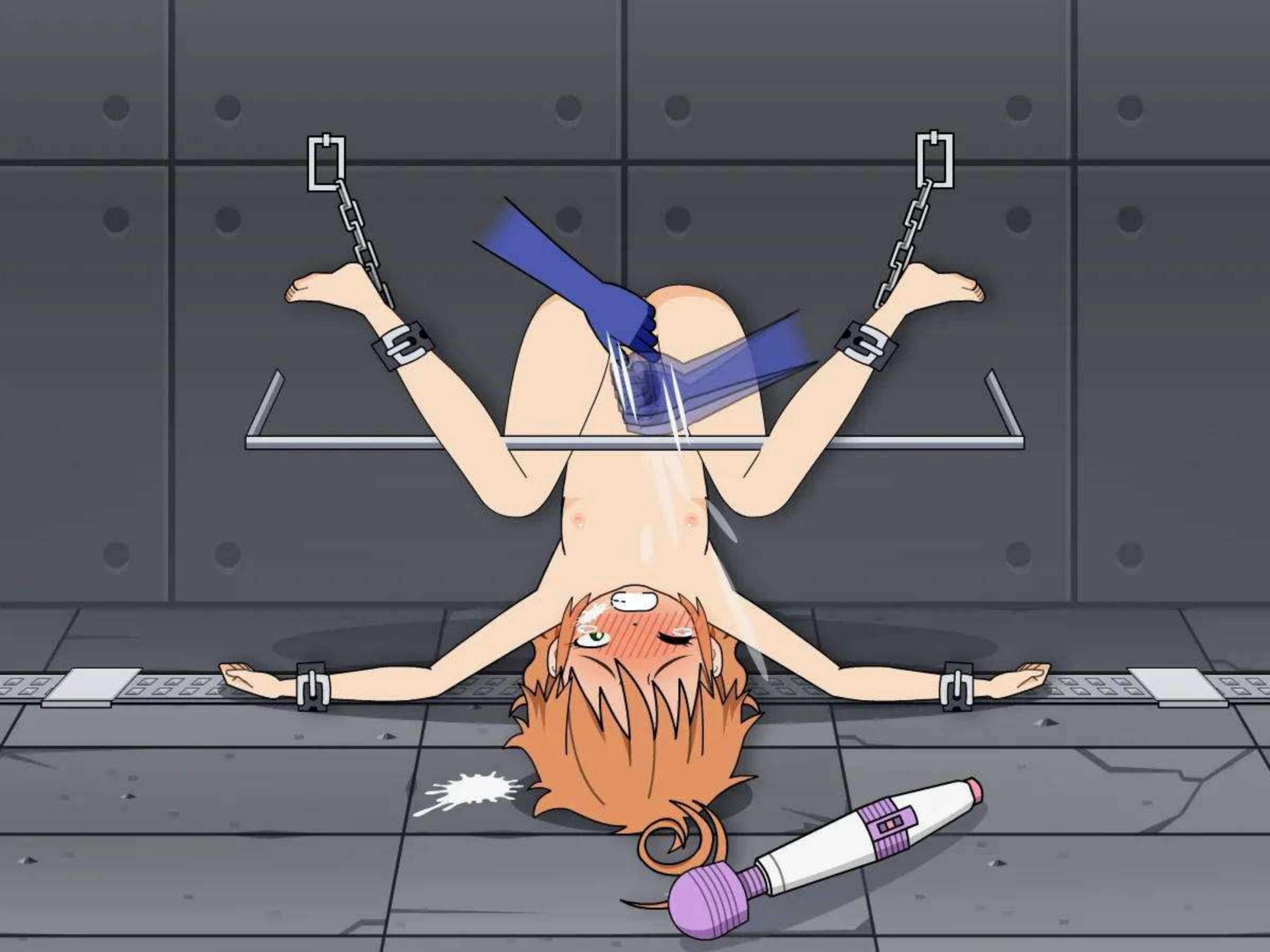


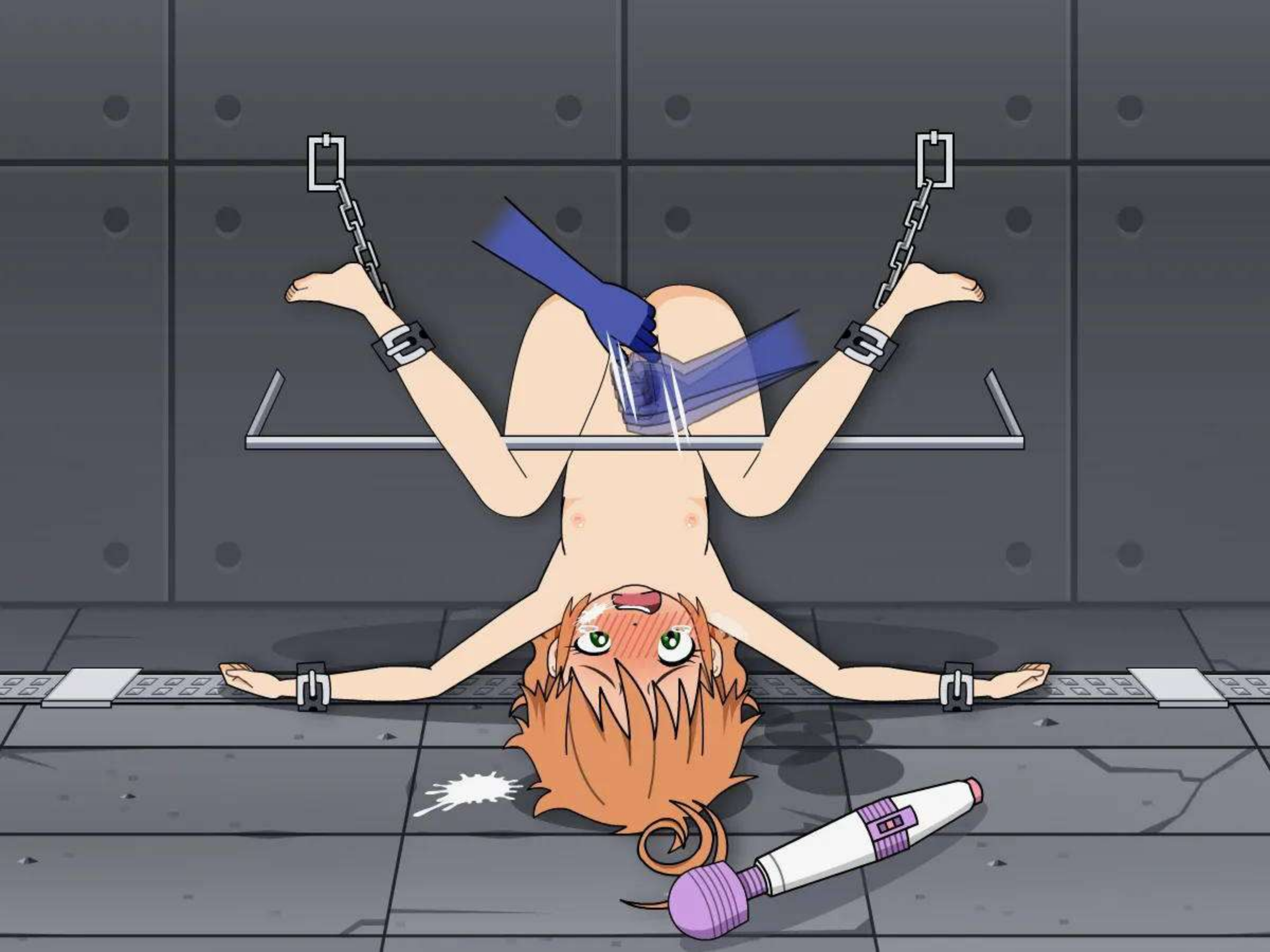


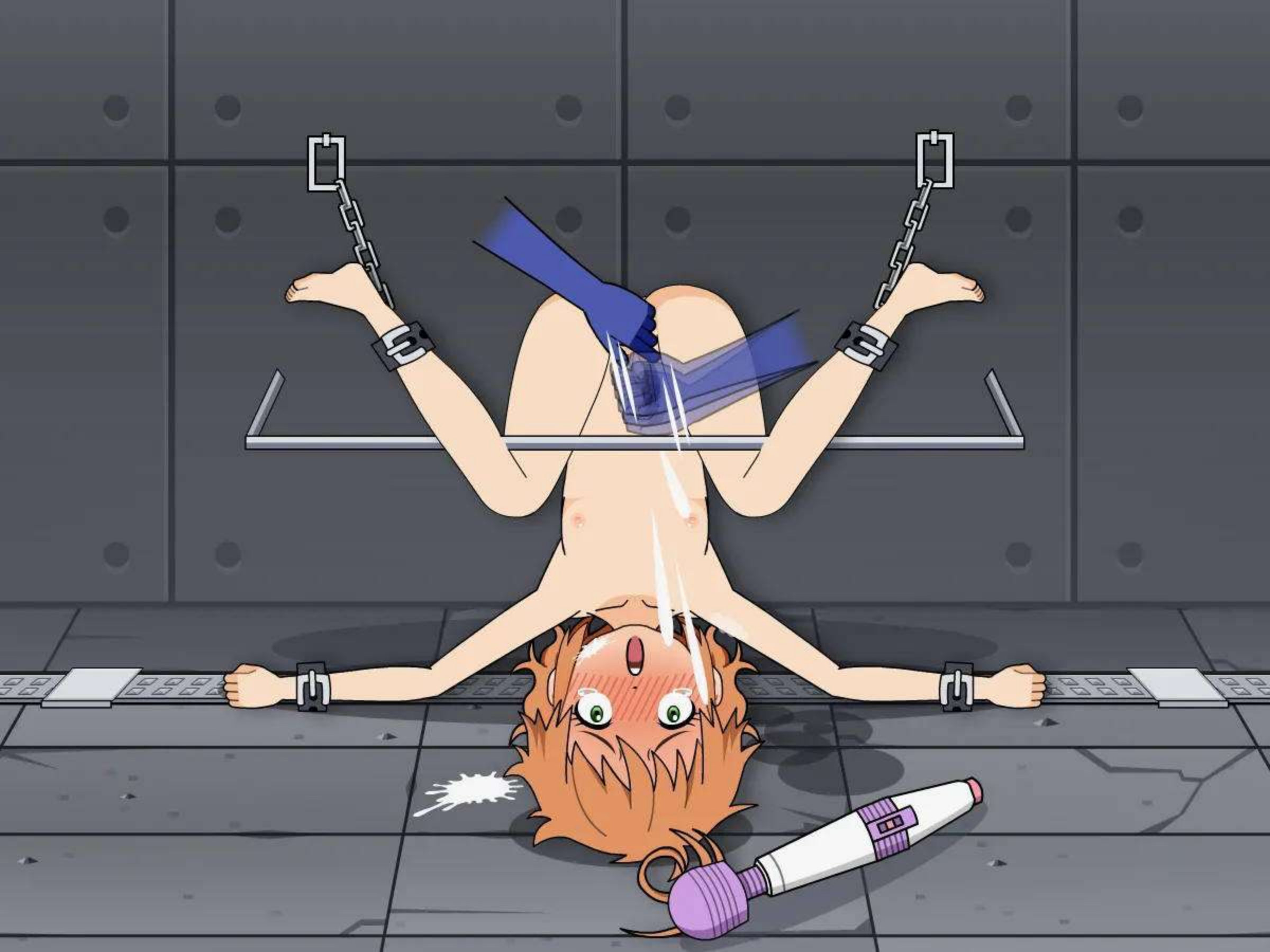


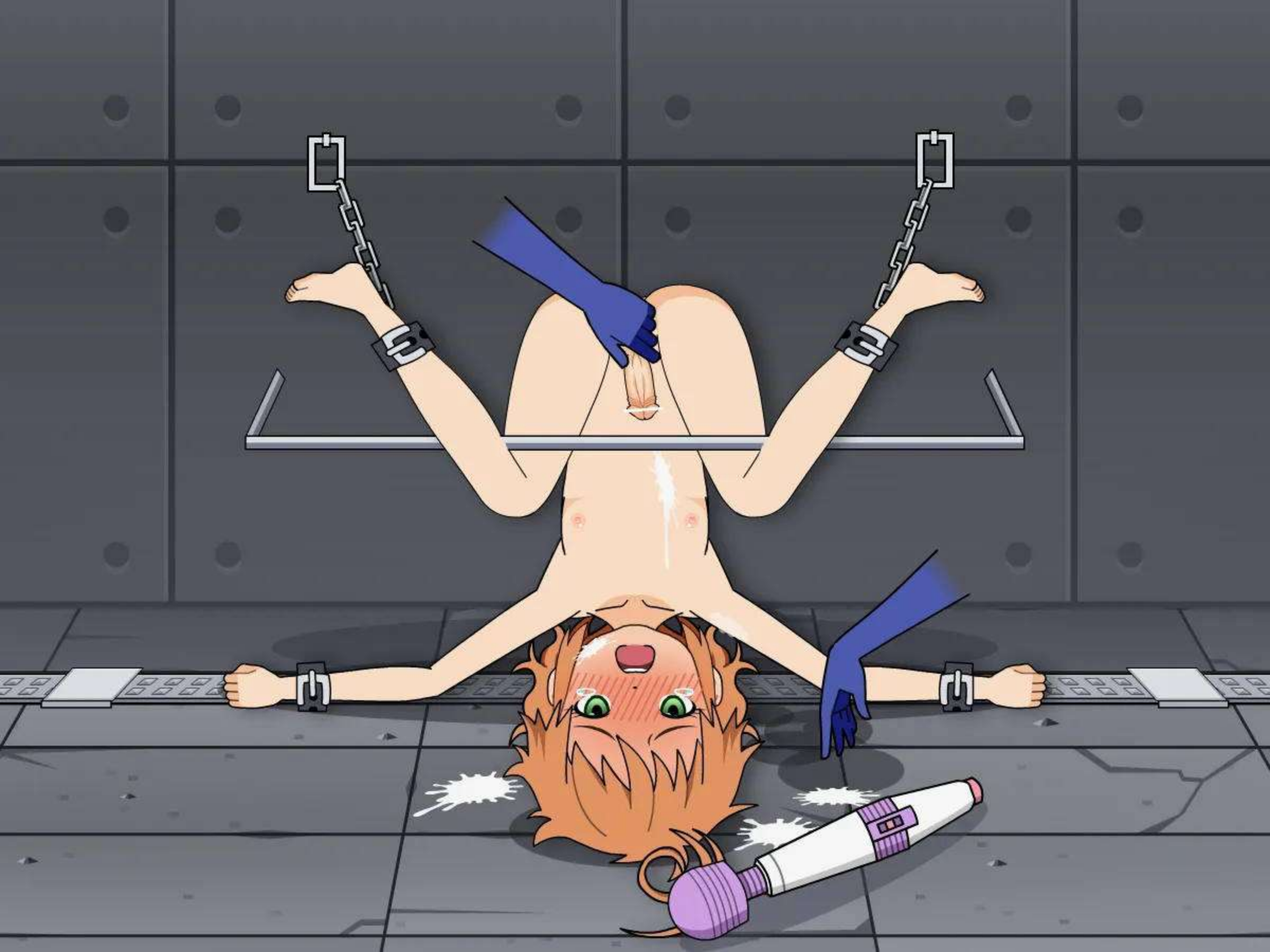


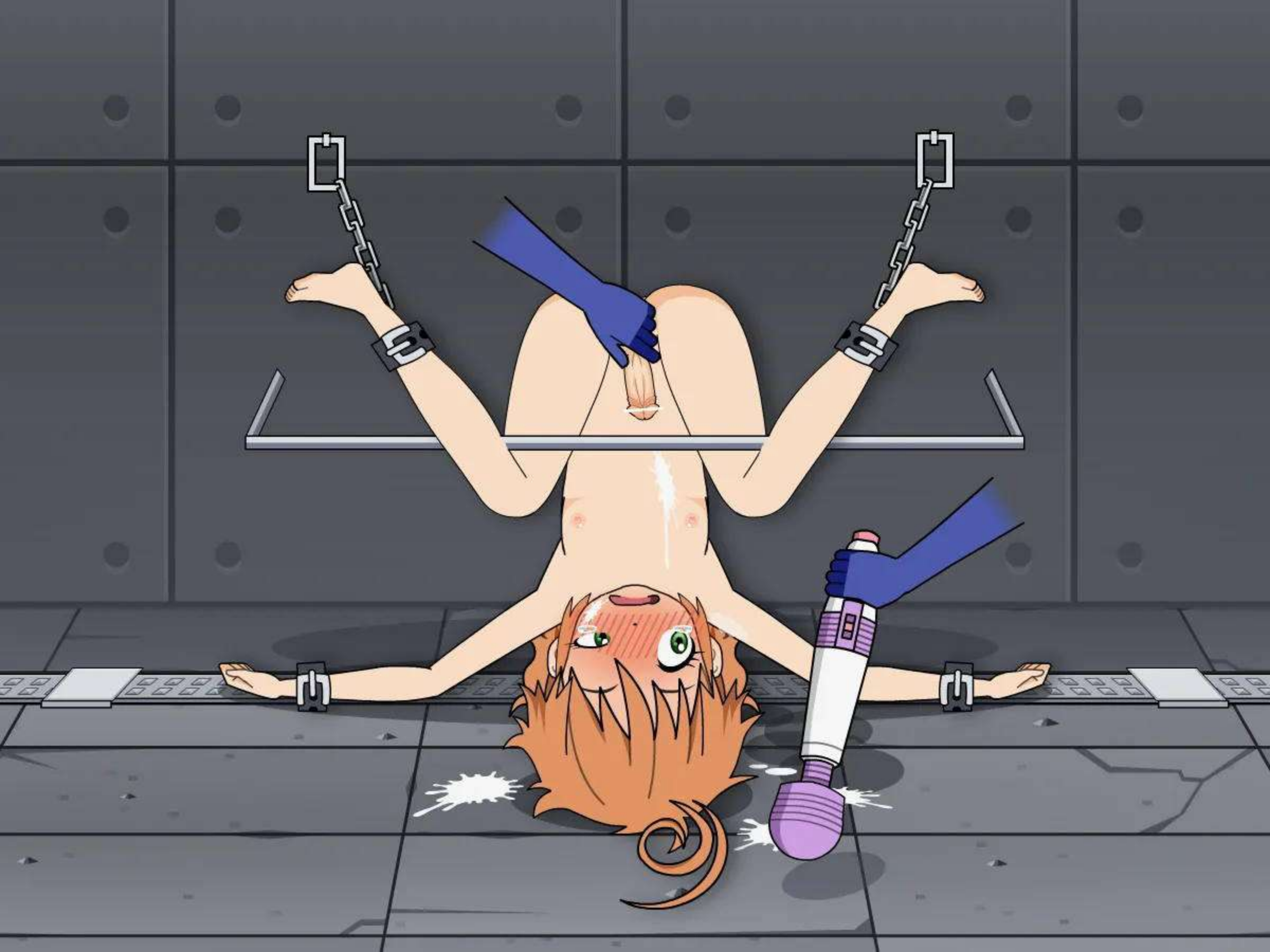












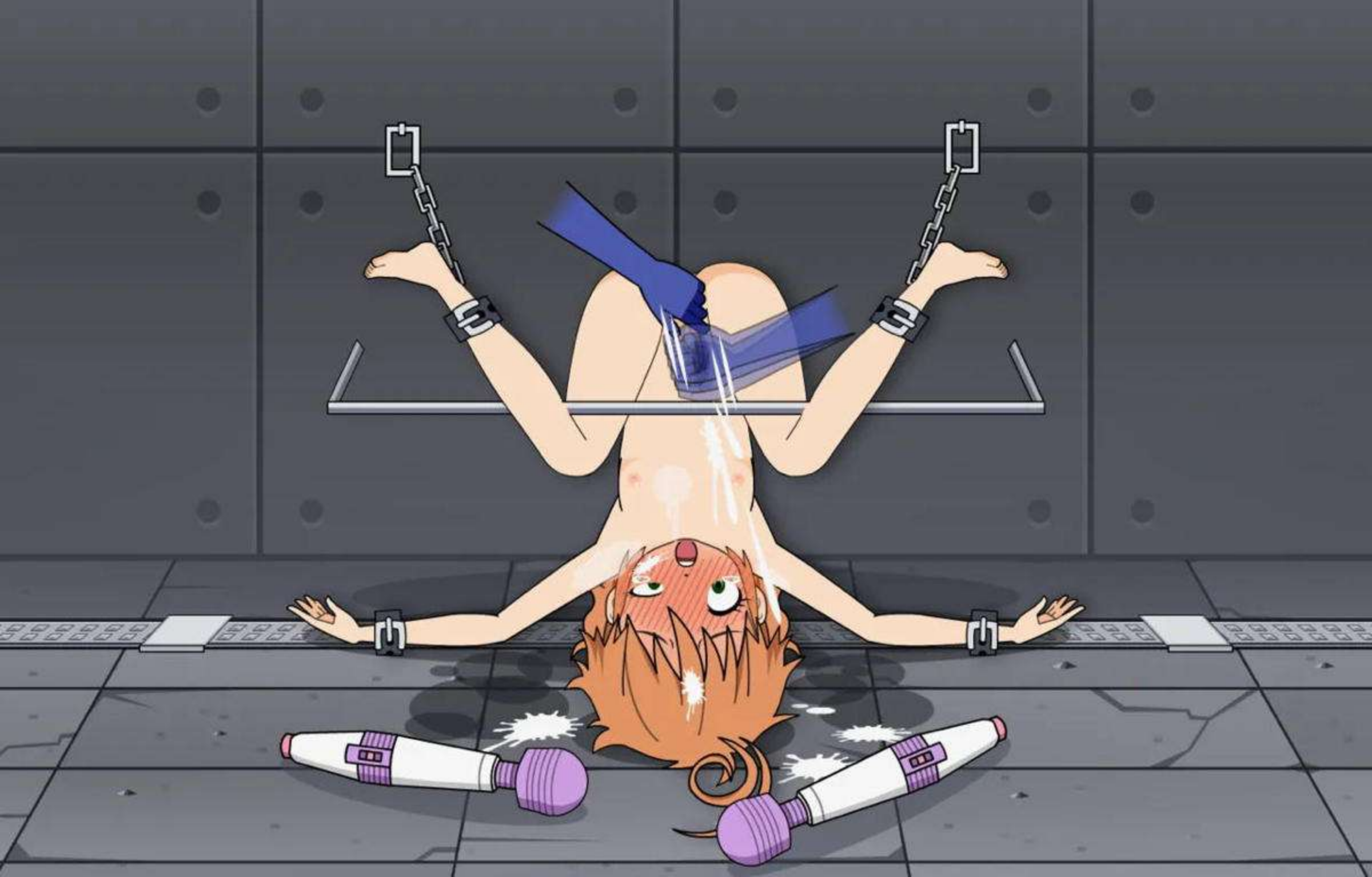


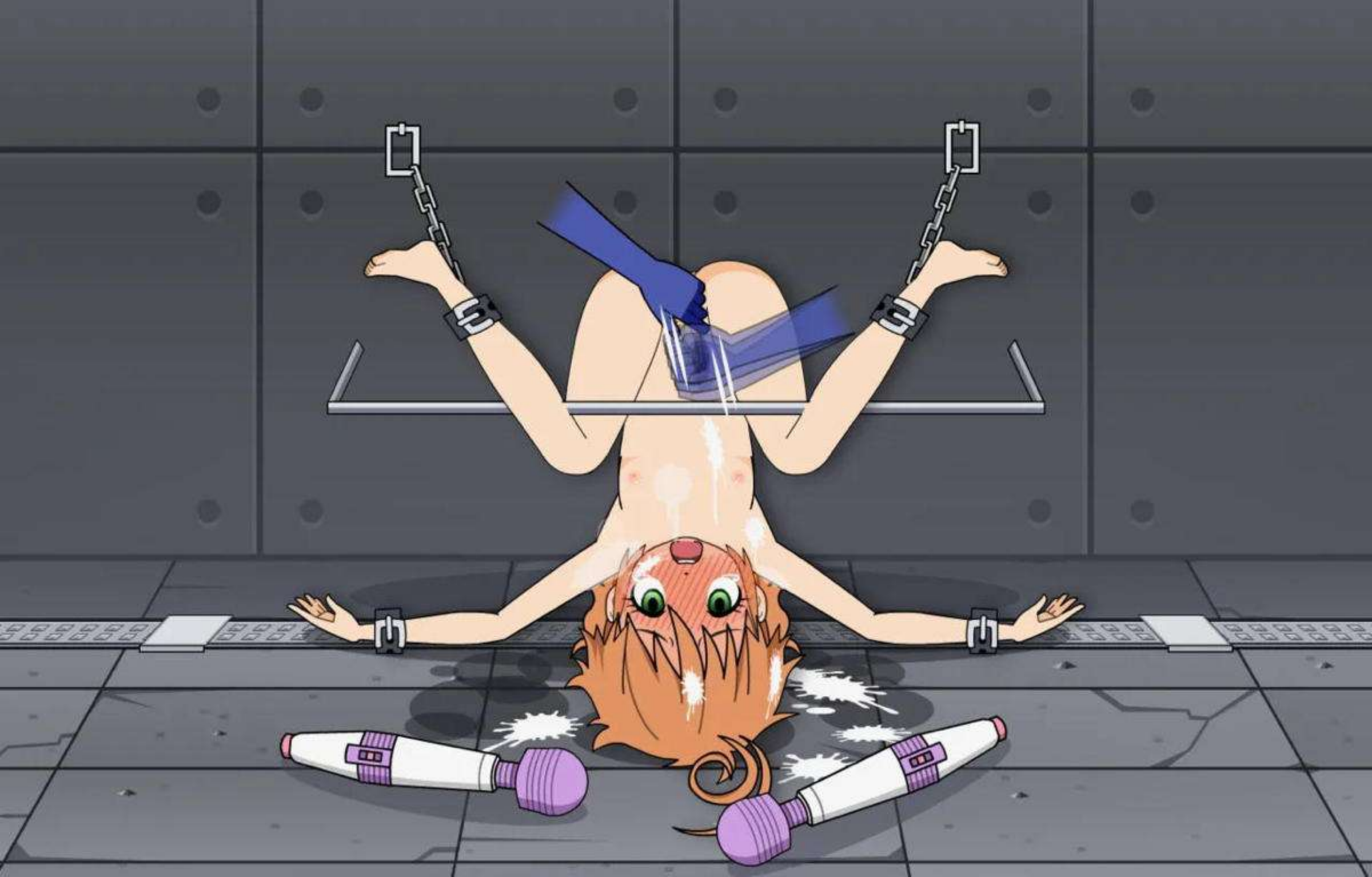




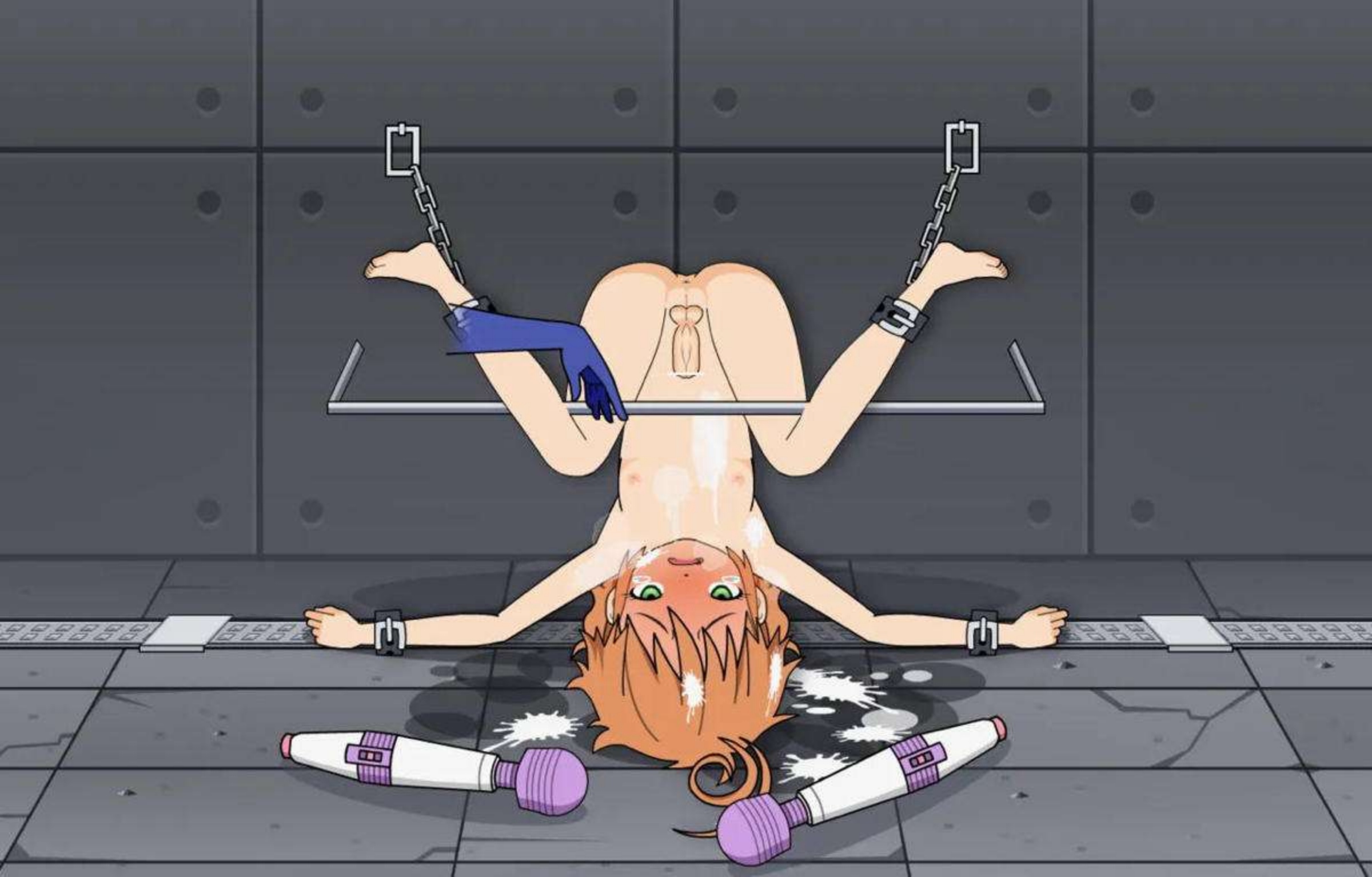


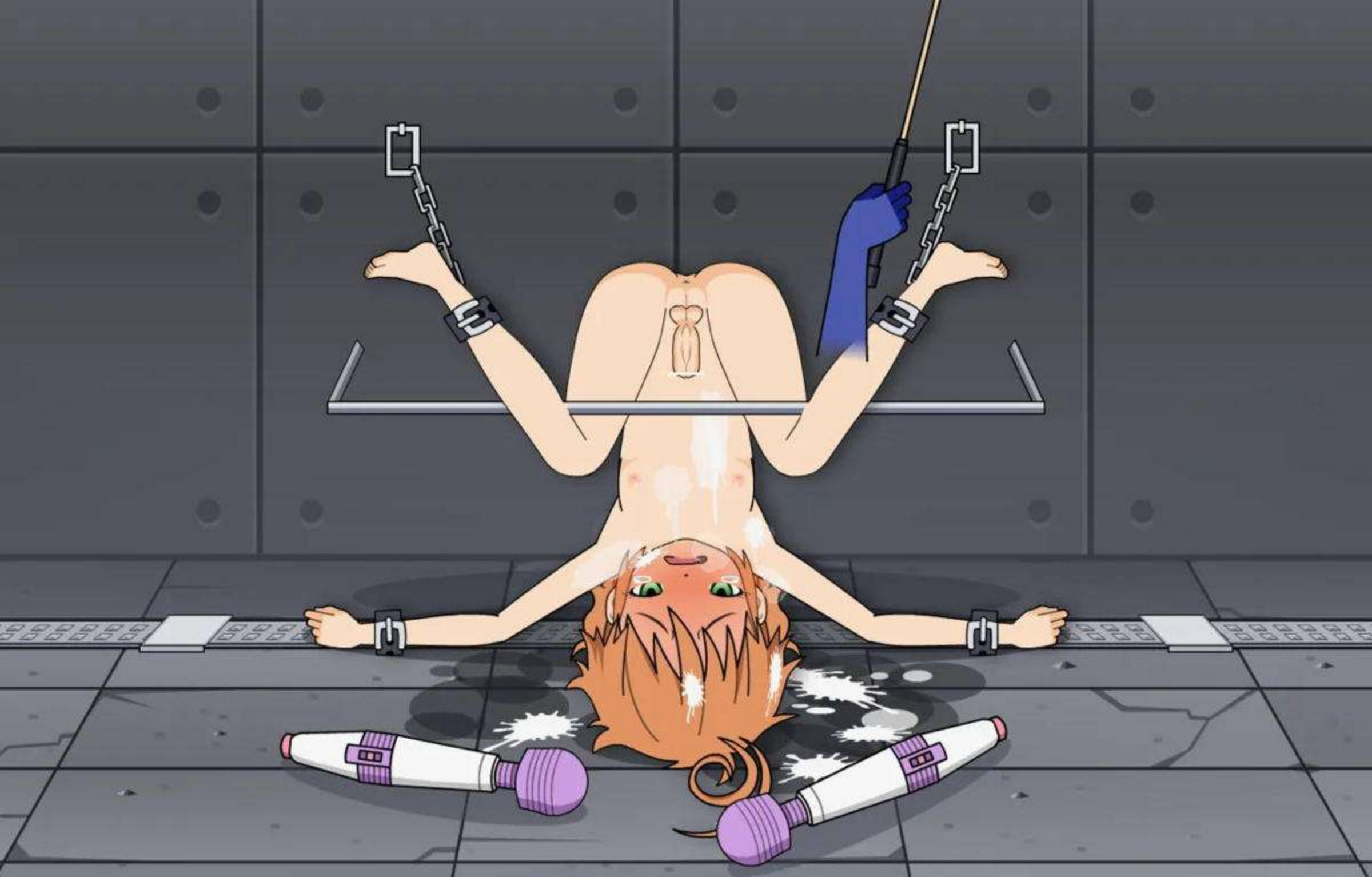




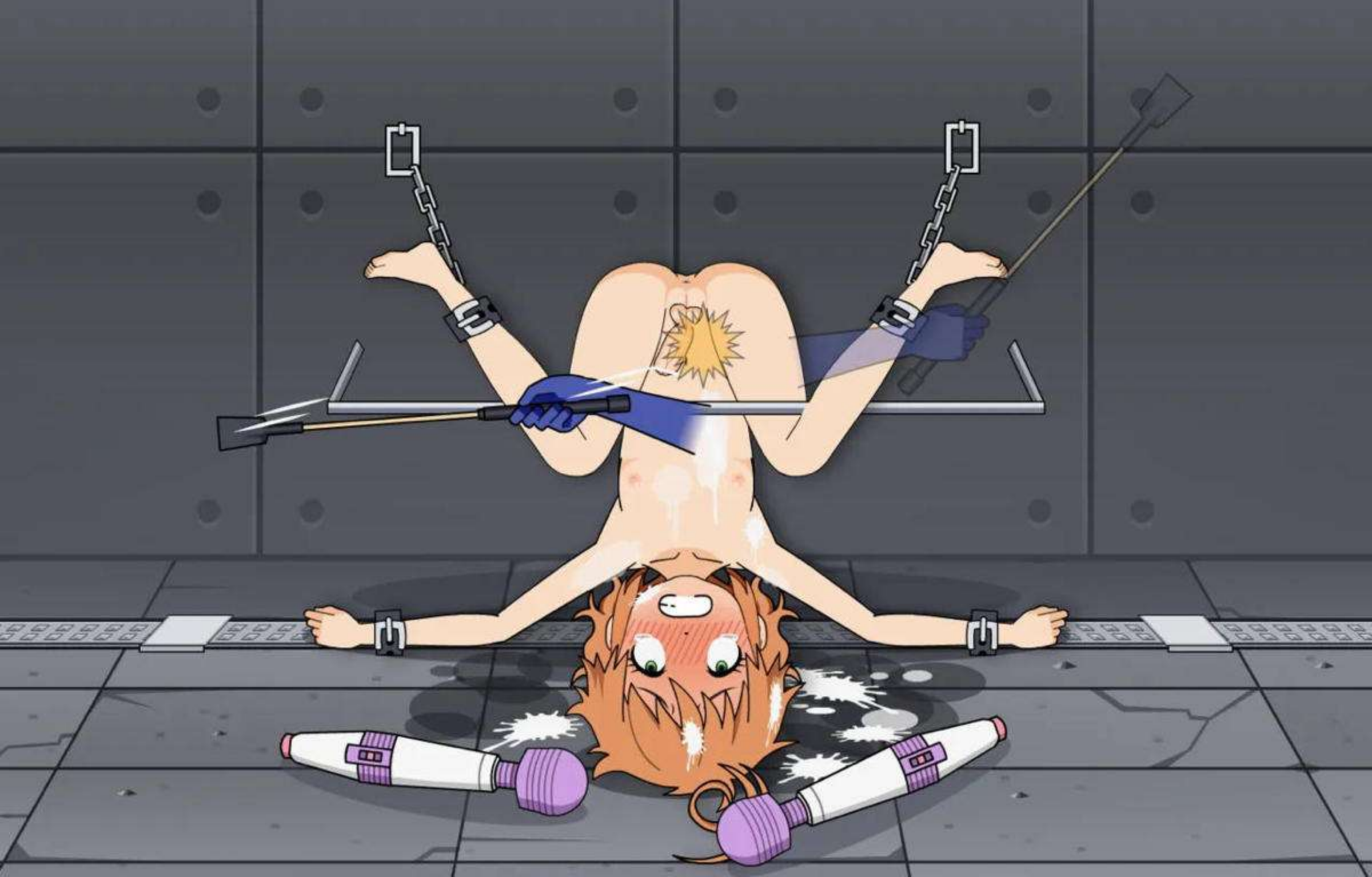






















「エマー！一緒にあそぼー！」

「エマ風邪ひいてるから遊べないんだって」

「えーつまんなーい。ギルダとアンナは？」



「今お見舞いしてるよ」

「僕もお見舞いに行っていていいかな？」

「風邪がうつるからみんなはダメだって」

「ねえ、なんだかエマが苦しそうだよ?」

「ホント! 咳をしてるみたい。」

「ゲホゲホって……大丈夫かなあ?」



「もうベッドに行った方がいいのに……」

「もしかしたらお外で遊んでる私たちが
羨ましいのかも?」

「ねえ、エマは心配だけどあっちで遊ぼう!」

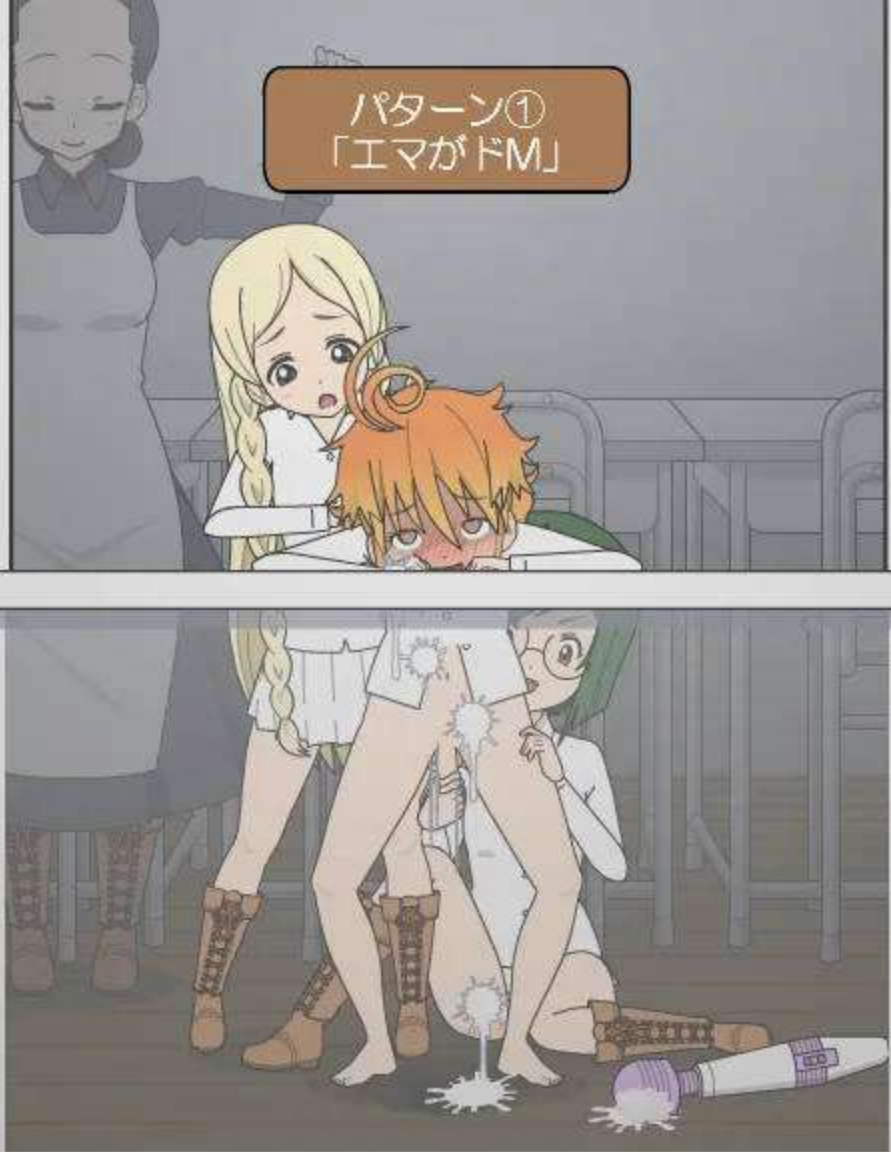
「ほおらエマ、望み通り先っぽを虐めてあげるわ！」

おもちゃで何度もイカされた先っぽを思い切り扱かれるのはどう?」

「エマ、まだみんなこっち見てるよ？」

ちゃんと誤魔化して!」

パターン①
「エマがドM」



「まったく、呆れちゃうわよね。」

こんなキツイ責め、普通なら嫌でも抵抗するのにな…見てよ。

エマったらこんなに足を広げちゃって。家族におちんちん虐められてエッチな声を出しちゃうんだから!」

「どうしたのエマ？」

大好きな先っぽ扱いてあげてるのに、
元気なくなってきたるわよ？

それとも、電マの方が好きだった？」

「ほらエマ、ちゃんと足を開いて？」

本当はもっと虐めてほしいんでしょ？」

パターン②
「無理やり」



「……『やだ』？何が嫌なの？」

もう何度も射精してるのに、今更嫌だ
なんておかしいなことを言うんだから。

……え？『もう出ない』？

ああ、大丈夫よ。別に射精しなくても
まだまだイかせてあげるからね。」

「ほらほら気持ちいいんでしょ？」

もっと射精してみなさいよ！

さっきからお潮ばっかりで全然精液
出てないわよ？」

「ギルダ、さすがにもう出ないよ。

先っちょばかり虐めすぎなのよ。」

パターン③
「ギルダ善がり」



「何言ってるの、気持ちいいからこんなに
いっぱい出したのよ？」

エマは無理やり先っぽを扱かれるのが
好きなのよ！

そうなんでしょ？エマ！ほら、もっと
激しくするわよ！ほらー！」

「ほらエマ、みんなに笑顔で答えてあげて？」
「アンナ、ちゃんと剥いて、もっと強く当てて！」
「エマってそんなに先っちょが好きなの？」



「大好きよ。もう2回も出してるんだもの。
このままあと何回かイかせたら、先っぽだけ
思い切り扱いてあげるの！」